

## ■第一章 自然

二丈町は、福岡県の最も北西に位置し、佐賀県と境界を接しています。福岡市の中心部からJR筑肥線で約45分。車なら、福岡都市高速道路と西九州自動車道を使えば30分足らずです。都市にはない豊かな田園風景、南には脊振山系の山々、北には玄界灘が広がっています。冬場は北西の季節風が強く吹きますが、年平均気温は15度を超え、県内でも温暖な気候です。

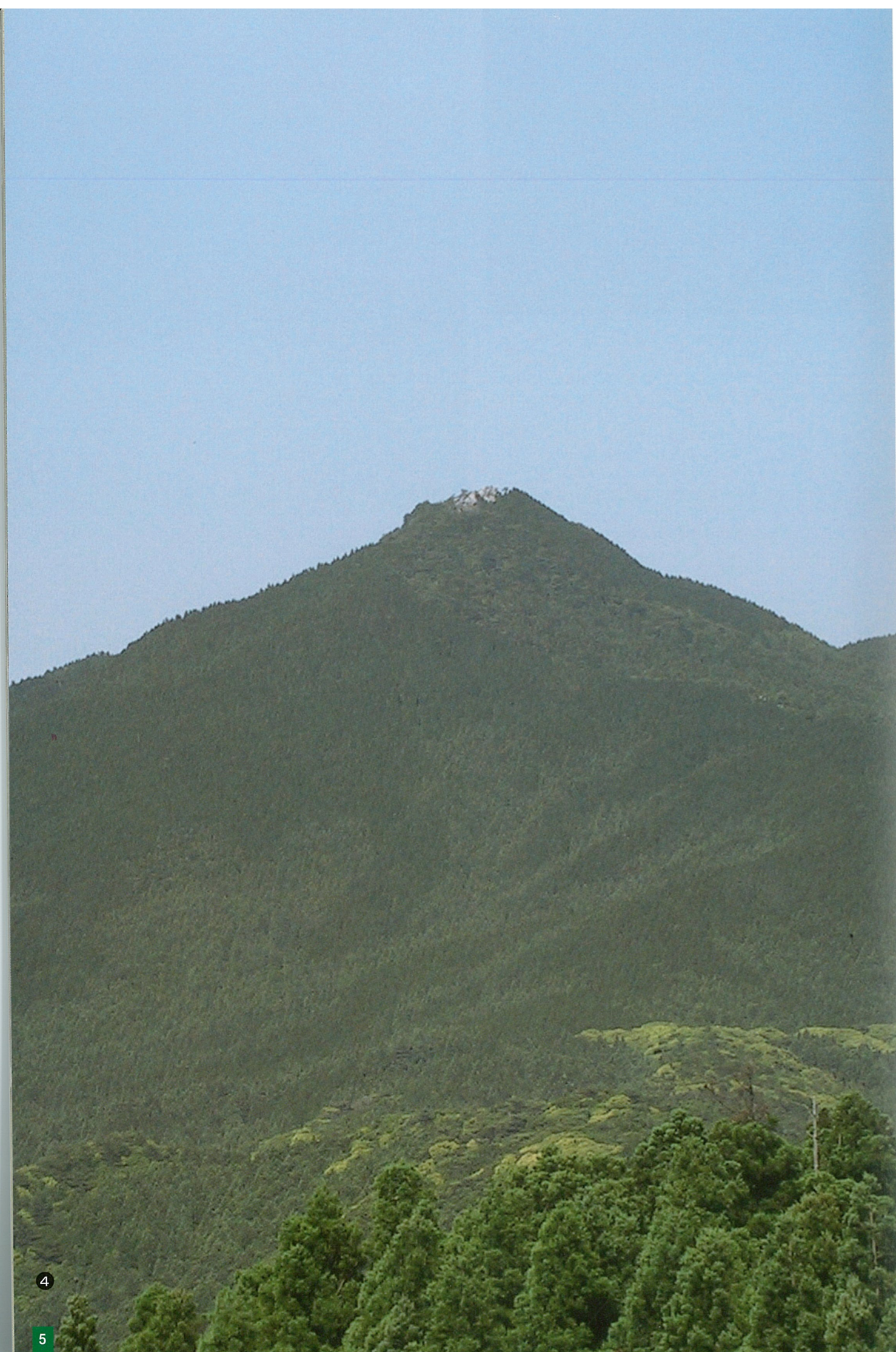
二丈町には、約9000万年前にできた花崗岩が広く分布しています。これらは、浮嶽の三十三尋石のような大岩や急な斜面を形成しています。

海辺では、石英の含有率が高い、「鳴き砂」の浜があり、「姉子の浜の鳴き砂」として全国的に知られています。

南部の山の懐にわいた幾筋もの清らかな水は、ある所では滝を作り、溪流となって刻々と姿を変えながら田畑を潤し、玄界灘へ注ぎます。

山から海にかけて展開する二丈町の優れた自然と景観をご紹介します。

暮らしの中に貴重な自然がいっぱい。



写真① 二丈岳からの風景



写真② 左から二丈岳、女岳、浮嶽、十坊山。登山やハイキングコースとして親しまれています。

写真③ 山城跡。二丈岳山頂付近には、400年余り前まで山城がありました。当時の石垣や瓦などが発見できます。

写真④ 町名の由来ともなった二丈町のシンボル・二丈岳(711.4m)。山頂からは眼下に糸島半島、玄界灘が見渡せます。

